



「木」・「金」・「弦」・「打」

4種の楽器が生み出すアンサンブル

「熊野吹奏楽団」



春もさかりの夕暮れ4月上旬、熊野町民会館の集会所から明かりと共に楽器の音色が聞こえてきました。楽長の長野広幸さんを中心とするこの「熊野吹奏楽団 (Kumano Symphonic Band) 通称・熊吹」は今年で活動11年目。年齢を問わず子供から社会人まで、音楽を愛する人たちが集まって構成されています。活動の始まりは、町内に



吹奏楽団がなかったことから、中学や高校の卒業生を中心に平成7年4月に結成されました。活動当初は10名ほどだったメンバーも今では30名まで増え、毎週火曜日と土曜日の18時30分から21時30分まで練習を行っています。

取材を行った日も、合奏を前に個人練習が行われていました。クラリネット・トロンボーン・サクソス・チューバといった大小様々な楽器が独特の音を生み出していました。また、演奏する楽器も全て自前とのこと(中には数百万円もする

楽器があると聞きびっくり)。楽器の大きさにより息を吹く量(肺活量)も違ってくるというので、体力も要求されるみたいです。

そして、いざ合奏になるとみんなの目は真剣そのもの、本番さながらの様子でした。その合間にも演奏するタイミングや、音の微妙な強弱などがチェックされていました。

「みんな明るくやさしい人ばかりで、とても楽しいです」楽団の雰囲気聞いてみるとこんな声が返ってきました。すばらしい合奏も楽団の良い雰囲気によって生み出されているのだと感じました。

現在は、6月に地元の中



学生や高校生と合同で開催するフレンドリーコンサートと、年末に開催される定期演奏会に向けて練習に励んでいます。

熊吹に興味を持たれた方、一緒に音楽を楽しみたいと思われた方は、次の連絡先または、ホームページへアクセス。



問い合わせメールアドレス info@kumasui.com
ホームページ(URL) http://www.kumasui.com

議会だより題字

荒谷大丘さん

表紙写真

熊野第二小学校の
入学式